



# 公益財団法人大阪YWCA

2023年度（令和5年度）

（2023年4月1日～2024年3月31日）

事 業 報 告

## はじめに

2023年度の大阪YWCAの事業・活動にご参加いただいた皆様、さまざまなご支援、ご協力、ご寄付を寄せて下さった皆様、講師、ボランティア、会員、お心を寄せていただいたすべての皆様に心からの感謝を込めてご報告いたします。

2023年度、特筆すべきは、日本語教師養成講座が54年の歴史を閉じたことです。日本語教師養成講座は、大阪YWCAの日本語教育を要として支え、多くの修了生を輩出してきました。講座を長きにわたって続けることができたのは、ご指導いただく先生方のご尽力と、受講していただく皆さんの熱意の賜物と深く感謝しております。これからめざすべき真の多文化共生社会に向けて、日本語教育に携わる私たちができること、すべきことは少なくないと思います。今後は、日本語教師会の機能をより強め、現役日本語教師の研鑽と実践の場として、そして、学びたい人と教えたいたい人をつなぎ、より高めていく役割を、包括的にすすめていくことができれば、と願っております。

専門学校日本語学科は、ようやくほぼコロナ禍以前の学生数が戻り、クリスマスパーティや卒業パーティで食事を共にすることや、卒業式での着物の着付け等の対面でのプログラムを復活させることができました。また、物価高騰により留学生の困窮度が高まる中、仙台宮城野奨学金が新設できたことは大きな喜びです。留学生の窮状にお心を寄せていただき、ご寄付をいただきましたことに深く感謝いたします。

中国帰国者支援事業では、長く続いていた大阪市の事業が9月末で終了となりました。I世、II世の高齢化が進む中、事業内容に工夫を重ね、各行政とも連携をとりながら、学びと交流の場を続けていきたいと思っております。

ボランティア・社会貢献活動では、コロナ禍の影響を跳ね返し、活動の活性化を図るべく、大阪YWCA文化祭を企画。多くの会員やボランティアが集いました。また、日本YWCAの助成を受け、沖縄YWCAと共に「沖縄と大阪を結んで女性の人権とジェンダーの課題を考える連続講座」では毎回、豊かな学びが展開され、大いに刺激を受けることができました。

2024年4月、大阪YWCAと関わりの深い2つの法律が施行されました。一つは、日本語教育機関の認定と日本語教師の国家資格化。もう一つは、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」(女性支援新法)です。様々に対応や考え方が求められる一方、挑戦をするチャンスでもあると思っております。YWCAらしさを失うことなく、新しい歩みを強めていくためにも、皆さまの更なるご支援、ご指導のほどを、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

公益財団法人大阪YWCA  
総幹事・常務理事 中山 羊奈

## 目 的

キリスト教の基盤にたち、女性と青少年の力を集め、リーダーシップを養成し、すべての人にとっての正義・平和・健康・尊厳・自由・持続可能な環境を実現することを目的とする。

## 基 本 方 針

1. 非核・非暴力による平和の実現のために積極的に行動する
2. 多様性を認め合い、出会いの中で育ち合い、変革を担う人材を育成する

### <日本YWCA第33総会期>

**ビジョン** 女性がリーダーシップを発揮し、人権・平和・環境を大切にする社会

**ミッション** 若い女性をエンパワーし、共に社会変革を進めます。

#### バリュー

##### 1. キリスト教基盤

すべての人は神の前に等しい価値をもつと信じ、常に弱い立場に置かれた者の側に立たれたイエス・キリストの生き方に倣(なら)って行動します。

##### 2. 平和・環境

アジア・太平洋戦争の反省から生まれた平和憲法を活かします。すべての「核」を否定し、軍事基地を含む暴力のない公正で持続可能な社会をめざします。

##### 3. 人権

人種・国籍・宗教・性・出自・年齢などの多様性を互いに尊重し、ジェンダー平等のもとで誰もが自分らしく生きることができる社会をつくります。

##### 4. セーフスペース

会員(ボランティア)が主体的にプログラムを推進し、すべての活動を、多世代協働によって民主的に運営します。常に誰にとっても安全安心な空間をつくり、誰もがエンパワーされる場とします。

### 2023 年度標語

平和、平和、遠くにいる者にも近くにいる者にも  
イザヤ書 57 章 19 節

## I. 教育事業

### 1. 専門学校事業

#### (1) 日本語学科／本科・日本語第二学科

日本語学校の教育内容や施設を文部科学省が審査して認定する新制度を定めた「日本語教育機関認定法」が成立、2024年度より施行される。あわせて日本語教師は、国家資格「登録日本語教員」になることが求められる。これに伴い、文化庁をはじめ関連団体主催の説明会を傍聴し、情報収集に努めた。

全日制総合日本語コース(本科)は、モーニング会話クラスや午前中のみ聴講生も含め、春期4クラス80名、秋期5クラス90名であった。春期・秋期に、ウクライナ避難民計3名を受け入れた。

進路面では、早い段階から進路相談や出願手続きのサポートなど、きめ細かな指導を行った。学校行事としては、関係団体や会員のサポートにより、伊賀上野方面へ日帰り旅行を実施できた。校外学習では、春に万博記念公園と民族学博物館、秋には大阪市立科学館と中之島公園へ出かけた。他にも校内スピーチコンテストやクリスマス会&クリスマスパーティーも行った。

留学生基礎力講座を再開。外部講師を招いて、「防災」「健康」「防犯」について学ぶ機会を作った。初の試みとして、日本語教師向け「ハラスメント防止研修」「青少年期のメンタルヘルス研修」を実施した。

#### (2) 日本語学科／別科

イブニングコースは春期・秋期とも4クラスを開講した。日本の企業で働いている外国人がほとんどだが、日本人の配偶者や永住者などが受講した。国籍は中国、台湾、韓国、香港、ネパール、フィリピン、インド、インドネシア、イギリスと多彩で、年齢も10代から50代まで幅広い層が在籍した。日本語能力試験準備コースは春期はN1のみ、秋期はN1、N2を開講した。中国、フランス、アメリカの学生が7月、12月の試験に向けて意欲を持って受講した。夏期集中コースは、3クラスを開講した。中国、台湾、香港、タイ、イギリス、アメリカ、オーストリアの10代から50代の学生が参加した。オプションプログラムは書道体験、お好み焼きパーティー、ちぎり絵のウチワ作り、校外へ出て天神橋筋商店街の散策や、大阪天満宮、大阪くらしの今昔館、造幣局の見学にも行った。

プライベートレッスンについては、グループレッスンには参加できない学生がそれぞれのスケジュールに合わせてレッスンを受けている。多様なニーズにこたえてオンラインでも対応している。

#### (3) 奨学金

今年度は大阪YWCA奨学金、大阪YWCA留学生里親の会奨学金、鈴木保奨学金、仙台宮城野奨学金(新設)の選考及び支給を行った。春/秋学期ともに多くの申請があったが、春学期は4名、秋学期は5名が選ばれた。昨年までは感染症の影響でアルバイトが思うようにできず困窮する留学生からの申請が多かったが、今年度は続く物価高騰のため生活を切りつめながら勉学に励む留学生が目立った。授与式には、会長、校長をはじめ、専任、非常勤講師、学校職員が参列し、困難に立ち向かう奨学生たちの強い思いや将来の夢に耳を傾けた。

「仙台宮城野奨学金」は、母国を離れて頑張る留学生のために、と有志の方からご寄付をいただき新設された。また、長く支給を続けてきた大阪YWCA留学生里親の会奨学金は今年度で終了するが、創設された当時の支援者の願いを継続して受け継いでいきたい。これからも、志高い勤勉な留学生を一人でも多く経済的に支援していくよう専門学校全体で支えていく。

### 2. 日本語教師を養成する事業

#### (1) 日本語教師養成講座

4月から実践・応用コースのみ開講し、6名の受講生が修了に向けて教育実習を含む演習科目を受講した。養成講座最後の年ということで、54年間の講座の足跡と飛び立った修了生たちの活躍を記録するコラムを機関紙「大阪YWCA」で5回にわたって連載した。2024年2月号では養成講座の顧問を務める大阪大学の荘司育子教授に、多文化共生社会をめざす日本の未来と、それに伴う日本語教師の新しい役割についての青写真を語っていただいた。

閉講した後も、登録日本語教員を目指す過去の養成講座修了生からの問合せも多くあることを想定し、制度としくみを正しく理解した上で丁寧な説明と適切な対応をしていく。

#### (2) 日本語教師会事業

2024年度「日本語教育機関認定法」が施行され「登録日本語教員」制度が始まるため、今後の日本語教師採用方法等について検討を開始した。会員向けに随時「登録日本語教員」についての情報提供も行っている。

自治体・国際交流団体等での日本語ボランティア向け講習会や日本語教室への講師派遣は回復傾向にあり（全13件）、講座・教室への申込者数も急激に増加している。昨年度に引き続き、大阪市教育委員会「新たな識字・日本語学習体制検討会議」メンバーに講師を派遣した。また「文部科学省日本語教師養成・研修推進拠点整備事業」にメンバーとして加わるようになった。大阪府専修学校各種学校連合会主催「海外教育機関へのオンライン出前授業」では、ベトナムの大学や高校で日本語を学ぶ学生対象に、「知って楽しもう大阪弁！」の授業を提供した。

大学等では、新たに立命館大学日本語プログラムに講師を派遣、また引き続きトラベルジャーナル学園の日本語授業にも講師を派遣した。

日本語コースでは、新たに「10代のための日本語夏期集中コース」、また引き続き「ビジネス日本語上級クラス」（春期・秋期）、「同 特別クラス」を実施した。

教材開発では、『くらべてわかる てにをは日本語助詞辞典』がJリサーチ出版から12月に出版、昨年度出版された『くらべてわかる日本語表現文型辞典 初級編』も増刷された。

講座・セミナーでは、「日本語教育能力検定試験対策講座」（ハイブリッド・オンデマンド）、「日本語初級／中級文型の教え方講座」も今年度からオンライン併用で実施、また3月に「春の日本語教育セミナー」を3回（内2回はハイブリッド）行った。

研究会・研究会関係では、「文法・構文研究会」、大阪YWCAで初めて教える会員を対象にした「新人研修プログラム」を実施した。

### 3. 生涯学習の各種クラス・講座

「子どもと子どもの本の講座」は、「子どもと本をむすぶコース」「図書館・学校ボランティアのブラッシュアップコース」「ストーリーテリングをたのしむコース」「児童文学をたのしむ特別講座」の4コースに分けて実施した。「子どもと本をむすぶコース」ではユニット1「子どもにことばを」とユニット2「赤ちゃんに絵本を」で基礎的な事を学び、「図書館・学校ボランティアのブラッシュアップコース」ではユニット1「子どもとわらべ唄」、ユニット2「子どもに絵本を」、ユニット3「子どもに本を手渡すために」をそれぞれ学んだ。「ストーリーテリングをたのしむコース」では最終回に受講生もストーリーテリングをした。「児童文学をたのしむ特別講座」は7回開催した。毎年恒例となっている上田由美子講師の「ミリー・モリー・マンデーのお話のつづき」や「アリソン・アトリーの作品を読む」も盛況であった。中西美季講師のアメリカ絵本の系譜「レオ・レオニのしごと」「ヤシマタロウのしごと」、3月には村川京子講師の「中川李枝子の幼年文学・絵本・エッセイ」を2回に分けてお話を聞いた。年度初めには講座イベントとして、川西共同保育園南博美園長による講演会「子どものイメージの世界と実体験」を行った。

ランゲージコースの春期は韓国語上級、韓国語初級、ベトナム語初級、ベトナム語中級の4クラス編成で開講したが、秋期になり受講者の減少でベトナム語中級のクラスは不成立となり初級・中級合わせてのクラスとなった。韓国語クラスでは2月に韓国語講座「ハンゲルの歌を楽しむ会」を開催した。過去受講生にも声をかけ、現受講生の韓国の楽器（ヘグム）演奏も加わり賑やかな会となった。

俳句講座は高浜虚子の孫、松田美子講師の指導のもと、毎月紙上の句会を行っている。コロナ禍以降も集まらない状況が続いているが、外に出なくても参加できることの良さもあり、月一回の句会を楽しみにしている。

## II. 平和・人権・環境等国内外の社会問題についての学習及び普及啓発と人材養成事業

### 1. 人材育成・研修事業

対人援助者が現場で支援する上で必要となる知識やエンパワーの姿勢を学ぶソーシャルワークセミナーは2つの講座を開講した。こども基本法とこども家庭庁が施行された今年度は、改めて子どもの権利と子どもが置かれている現状を理解し、市民が今できることを考える「子どもの声を聴くための基礎講座」を3回にわたって開講した。少ない参加者数ではあったが3名の専門家を囲みながら親密な雰囲気で見聞交換ができる勉強会となった。専門性の高い講師とのつながりは、今後子どもの活動に取り組む際の大きな助けになると考える。多様な価値観を理解し受容するための姿勢や、聴くための基本技法を学ぶ傾聴講座は「多様な地域社会を支えていくための傾聴力養成講座」と題して連続5回で開講した。さまざまな背景をもつ参加者に恵まれ、ここで得られた経験と学びがそれぞれの地域へと還元されていくことはYWCAの理念にもつながると考えている。これらの講座は大阪市ボランティア活動振興基金助成で実施された。

企業からの依頼を受け、コーチング、マネジメント等をテーマとした研修の提供も行った。

## 2. 平和・環境についての学習と啓発事業

ピースフェスティバルは、「私たちのカラフルコミュニケーション」と題し、2部構成で実施した。1部は、難民申請中南アジア出身の女性による手作りカレーのランチを楽しむと共に、ミャンマーの現在の状況を日本バプテスト同盟高槻バプテスト教会のマキン サンサン アウン牧師から伺った。2部は、渡邊さゆり講師（マイノリティ宣教センター共同主事）を招き、公開講座「もっとまぜてみよう！世界はもっとオモシロイ〜改悪入管法反対アクションエトセトラ〜」を行った。入管の制度、行政の問題点などをわかりやすくお話いただくと共に、私たちの行動で社会は変えて行くことができる、という希望を与えていただける講座となった。

日本YWCAの地域YWCAを主体とした活動助成（LA:Local Action）第3期の助成を受け、「沖縄と大阪を結んで女性の人権とジェンダーの課題を考える」を沖縄YWCAと共催することが決定。2023年度はその1年目ということで、沖縄と大阪をハイブリッド形式でつなぎ、それぞれの地域の特性に基づいた6つの公開講座を実施した。講師にも恵まれ、通り一遍でない、熱を感じる講座となり、人権課題の共通性を感じ、互いに大きな刺激を受けることができた。2024年度は、沖縄、大阪を実際に訪ね共に学ぶフィールドトリップを予定している。

## 3. 国際的な諸問題についての学習と啓発事業

イスラエルによるガザ攻撃が続く中、パレスチナグループからの提案を受け、2つの全国一斉運動を日本YWCAへ要請した。1つ目は、マスコミによる公正な報道を求める要請書「現在ガザ地区で起こっているジェノサイド（大量虐殺）を止める報道を！」（賛同呼びかけ）の発信。報道関係者に向けて要望書を発信すると同時に団体・個人の賛同を募った。12月15日の段階で、1122の団体・個人から賛同が寄せられている。2つ目は、クリスマス時期に合わせた「ガザにおける即時停戦を求める サイレントアピール一斉行動」。クリスマスの時期に「#ガザ即時停戦サイレントアピール」と「#SILENT NIGHT FOR GAZA」のメッセージを携え、SNS上や街頭でアピールを行った。大阪Yでは、12月23日、24日、25日の3日間街頭アピールを行い、延べ24名が参加した。

## 4. 東日本大震災被災者支援

リフレッシュプログラム「大阪わいわいステイプログラム」に代わり、関西に進学してくる被災地出身者への奨学金「大阪YWCA3.11わいわいサポート」の募集を開始した。春期と秋期、2回にわたって地域YWCA、大阪を中心とした関西の大学等に広報を行ったが、残念ながら応募者が得られなかった。より支援の少ない入試や入学準備に対する助成についても検討を続けている。9月には2020年以來3年ぶりとなるチャリティライブ「stand by you」を雲州堂で実施。4組の出演者の心あたたまるパフォーマンスで大いに盛り上がった。被災者支援担当チームの報告では、メンバーの1人が7月に仙台を訪問した時のレポートもあり、現地に思いを馳せるひと時となった。恒例の街頭募金は3月10日に実施。

## Ⅲ. 社会的に弱い立場におかれた人への支援事業

### 1. 知的障がいをもつ女性の社会参加を促進する事業

#### (1) グループパレット（知的障がいをもつ女性たちのグループ活動）

グループパレットは、知的ハンディキャップのあるメンバーが委員会に参加し、企画にも積極的に関わっている。ボランティアと協働して誰もが自分らしくいられる場づくりを目指し、月1回の例会では、毎回メンバーとボランティアが担当をとって様々なプログラムを主体的に実施している。

年々厳しくなる気候変動により、外出は暑さや寒さによる体力消耗がはげしくなるため、活動時間や場所選びをメンバー全員で話し合いながらプログラムを決めた。今年は久しぶりにカラオケや調理、食事会などを実施することができ、皆で集って歌ったり、食事したりする喜びをふたたび分かち合えた。クリスマスバザーではリサイクル衣料の詰め放題を担当し、メンバーとボランティアが協力して売り子を務めたり、外出プログラムでは自分で切符を購入したり、目的地までの行き方を検討したりと、自分達ができることを率先して行い、困っているメンバーがいれば手助けをするという自主的な活動ができた。

### 2. 視覚障がいをもつ人の社会参加を支援する事業

#### (1) むらさきつゆくさの会（視覚障がい者のための生け花の会とガイドヘルプ）

むらさきつゆくさの会（視覚障がい者のための生け花講座）は、今年度は毎月開催することができた。20代から80代までの幅広い年代の受講生9名とボランティア7名が活動している。活発な受講生が多く、毎月お花を生けるのを楽しみしてくれていてボランティアも良い刺激を受けている。

## (2) リーディンググループ

リーディンググループは、定期的集まり朗読の勉強会を行っている。

## (3) 点字子ども図書室

今年度も従来通り月曜日と木曜日に活動をおこなった。新規のボランティア希望者や見学者もあり徐々に活動メンバーも増えつつある。

今年度の新規児童書の点訳は、例年の3分の2程度にとどまった。2023年度現在までの蔵書数は3,966タイトル、8,168冊を数える。例年通り、統合教育を行う小中学校の算数・数学の教科書の点訳、金蘭千里中高のボランティア部で点訳講習を行っている。蔵書の保管場所の確保が引き続き懸案事項となっている。

## 3. 高齢者の社会参加を促進する事業

千里ボランティア委員会では、今年も高齢者のための配食サービスを毎週木曜日におこなった。地域の方々からのニーズは高く現在新規の申込みはキャンセル待ち状態であるが、作り手も高齢化してきており配食数を増やしていくことがなかなか難しい状態である。使用済み切手整理は、月1回のペースで順調に活動をおこなっている。使用済み切手の数は年々全体的にも減ってきており時代の流れを感じさせる。

3月には沼野尚美さんを迎え講演会「今を生きるコツ ～よりよく生きるために～」を実施した。コロナ禍を経てこれからをどう生きるかは常に大切なテーマであり、改めて人生を考える良い機会になった。

## 4. 女性のエンパワメント推進事業

### (1) 女性のこころの健康サポート

2023年度、主催講座「私らしく咲く～女性のこころの発達を考える連続講座～」(くれよん月例会)は、計11回実施。講師：井ノ崎敦子公認心理師。年間テーマを「国際セクシュアリティ教育ガイドランスを読む」とし、国際機関がセクシュアリティ教育の指針として共同で発行している『国際セクシュアリティ教育ガイドランス』をもとに包括的セクシュアリティ教育や若者の健康と幸福について扱った。全国のRUSV(下記(3)参照)関係者に案内し、京都YWCAのユース委員を研修として受け入れた。

女性のこころの健康をサポートする事業としてのカウンセリングは、2021年度より対面とオンラインの両方に対応しているが、今年度は限られた利用にとどまった。

### (2) インターンシッププログラム

2021年度から始まった若い女性のリーダーシップ養成のためのインターンシッププログラムは、6月から2月まで月1回、対面とオンラインのハイブリッドで、今年度は沖縄YWCAと協働で、大阪と沖縄をつなぐ「人権」「ジェンダー」をテーマに実施した。内5回のLA公開講座に参加することで学びを深めながら、2024年度実施の人権問題について学ぶフィールドトリップを大阪と沖縄それぞれで立案することを企画実習とした。初回の6月はオリエンテーションとジェンダーの学びの導入のためにミニ講座を実施し、企画会議の折には、ウォームアップの時間として、国際条約等に触れ、人権に関する知識や思いを深めた。各LA講座では、部落女性、沖縄の若年妊産婦、在日コリアン、LGBTQ+、等多様なテーマで学び、12月のミニ講座では、大阪の多文化共生教育の実践について学んだ。講義を聞いた上でメンバーが企画会議にて、大阪と沖縄それぞれのフィールドトリップを検討し、2月最終回の企画発表会に向けて準備を進めた。さらに人権問題について学びを深めフィールドトリップ企画をより良いものにするために、現場探訪や関西大学人権問題研究室委嘱研究員の仲間恵子のインタビューも実施した。最終回の企画発表会では、2024年度実施のフィールドトリップ案について、現場探訪の経験と今まで受講した講座での学びも活かしながら企画案を発表し、仲間恵子の講評を得た。

### (3) Rise Up! School Visits

中高生のための包括的性教育プログラムを開発・実施する『Rise Up! School Visits』(RUSV)チームは新年度募集により5名のメンバーが得られたが、1名退会により4名となった。また、神戸YWCAからオブザーバー1名も参加した。今年度は性的同意をテーマに、『同意のある関係性づくり～私のYesはあなたのYes?～』というワークショップを、月に1～2回のオンラインミーティングを重ねながら作成した。12月17日ワンフェス for Youthに出展し活動について宣伝する機会を得た。3月2日大阪YWCA文化祭にて、3月9日神戸YWCA定期会員集會にて、3月18日プール学院中学校・高等学校にてワークショップを実施し、ユースだけでなく幅広い年齢層に向けて包括的性教育、特に性的同意の重要性について発信した。

#### (4) 関西学院大学YWCA

関西学院大学神戸三田キャンパスの学生を中心に発足した**関西学院大学YWCA**は、今年度新メンバーの加入はなく、三田キャンパス以外を含めメンバー計4名。ジェンダー平等やセクシュアルマイノリティの理解促進、などをめざして活動した。4月は新入生に向けて新しいSNSを開設し、6月はプライド月間に寄せて、SNSで身近なLGBT+の当事者エピソードの投稿をするなど、LGBT+についての理解促進を図った。UN Womenの提唱する暴力撤廃キャンペーンOrange the Worldに呼応するオレンジザキャンパスを実施し、その一環として12月8日、関西学院大学HeForSheと協働で、関西学院大学客員教授三輪敦子講師に招き、「NO MEANS NO ～性的同意と性教育～」と題し、上ヶ原キャンパス内講演会を開催した。また、国際連合人口基金（UNFPA）が実施していた16 days activismにも参加した。次年度は、メンバー全員が4年生となり就活生となる。2024年度新入生メンバーが獲得できなければ、活動の継続が危うい為、現在新メンバー獲得のためSNS等での発信と宣伝を精力的に行っている。

#### (5) 外部団体との交流と連携

外部団体との連携に関しては、7月3日に関西学院大学にて、「ジェンダー・フェミニズムを自分ごとに」というテーマで出張授業を実施し、職員が講師を務めた。龍谷大学より大阪YWCAにインターン生2名受入れの依頼があり、女性エンパワメント部を窓口として受け入れた。10月から12月中旬まで、RUSV、インターンシッププログラム、バザー、ワンフェス for Youthの活動に参加した。ステップハウス元入居者支援グループのクリスマス会を12月15日に会員ルームで実施、9名参加した。また、香港中文大学から研究協力の依頼を受け、大阪在住で主たる生計維持者の女性のアンケートへの協力者確保を請け負っている。

上記の活動のうち、ユース育成に関わる部分は、「日本YWCAユースエンパワメントプログラム補助助成金」を得て実現が可能となった。

昨年度のインターンシップ受講生の1名とRUSVのメンバー1名が今年度も継続参加したこと、今年度のインターンシップは沖縄との協働でより多角的な視点から学びを深められたこと、小さな歩みではあるが、広がりや成果の感じられる年となった。2021年度、2022年度のインターンシップ受講生から各1人が当委員会委員になり、委員会が「世代を超えた相互エンパワメント」の場になっていることも喜ばしい。

### 5. 中国残留邦人等への支援事業

#### (1) 近畿中国帰国者支援・交流センター（厚生労働省委託事業）

日本語学習支援として、春夏期、秋冬期ともに10コース14クラスを開講し、約170名が登録、毎月延べ約400名が参加した。I世代対象の日本語クラスでは地域で役立つ「コミュニケーション能力」に重点を、またII～III世を中心としたクラスでは、集中的に学べるコースや上級レベルの日本語コースを開講し、「就職活動」「ビジネス場面」で役立つ日本語が学べるようにした。他にもキャリアアップ支援を目的とした「日本語能力試験」「観光・医療通訳技術」の資格取得対策、パソコンコースも引き続き開講した。日本語能力試験の直前対策として11月に模擬試験を実施し17名が参加した。通学学習課程に参加できない帰国者のためには、遠隔学習課程（通信教育）のスクーリングを実施した。また、交流事業としては、引きこもり防止を目的にI世代対象に「朗朗（ランラン）クラブ」を実施した。延べ約120名の登録があり、季節の行事体験、介護予防体操、和洋裁等に毎月延べ約150名が参加している。高齢化が進むI世を対象とする介護支援事業「語りかけボランティア訪問」は、神戸市1カ所、宝塚市1カ所、尼崎市1カ所、大阪市1カ所にボランティアを派遣している。各自治体に所属する支援・相談員との連携を深めながら、ニーズに対応できるよう努めた。3月には登録ボランティアを対象に「高齢者のコミュニケーション」に関する研修会を実施する。地域支援事業は各自治体職員対象の「近畿ブロック担当者連絡会議」を9月に実施し、情報交換の機会を設けた。地域での支援を充実させるため地域生活支援推進事業として、ボランティア団体、自治体等各関係機関、NPOとの連携に努めた。いくつかの自治体より支援者養成研修について相談があり、研修内容、講師案について情報を提供し実施に協力した。また尼崎市の支援団体である「コスモスの会」と共催でシンポジウム「中国残留日本人への理解を深める集い」を実施した。就職援助事業として、「観光・医療通訳技術」にて日本文化理解を目的に、外部講師による特別授業「日本の食文化～昆布と出汁～」を、3月には模擬就労面接を実施した。

#### (2) 大阪市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

4月～9月の間、YWCA会館に高齢者対象の日本語ゆっくりコース3クラス、朗朗自習パソコンクラス1クラス、平野区に日本語コース2クラス、東淀川区に朗朗日本語クラブを開講した。合計56名が在籍し、日本語学習や交流活動に参加した。参加者の高齢化に配慮し、全てのクラスでラジオ体操を実施し、その他にも脳トレや歌も取り入れ、介護予防、認知症予防のため楽しく日本語が学べるよう実施した。しかしながら2023年度予算の減額により、本



事業を終了する旨大阪市より通知があり、9月末をもってこの事業は終了した。在籍者は10月より支援・交流センターのクラス、プログラムに移行し、学習、交流を継続している。

### (3) 門真市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

毎週日曜日、日本語コース2クラスを開講、9名が在籍した。学習歴のない人や高齢者の参加を促進するため、“楽しく学ぶ”ことに重点をおき地域交流を目的に実施している「朗朗門真」には約15名が在籍し、手芸、介護予防体操、脳トレ等、引きこもり防止を目的に楽しみながら日本語に触れられるプログラムを実施した。

### (4) 京都市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

今年度前半(4~9月)、日本語コース2クラスを開講し6名が在籍。高齢者対象の「朗朗京都」は、向島地域と醍醐地域で各月1回実施した。合計約30名の登録があり、健康体操、手芸等をしている。参加者の居住地に近い会場のため、積極的に参加する人が多かった。

### (5) 宇治市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

今年度後半(10~3月)日本語コース2クラスを開講し7名が在籍。高齢者対象の「朗朗京都」は、向島地域と醍醐地域で10~3月は交互に月1回実施をした。合計約30名の登録があり、健康体操、手芸等をしている。参加者の居住地に近い会場のため、積極的に参加する人が多かった。

### (6) 堺市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業(堺健老クラブ)

毎週木曜日3クラスを開講、前期22名、後期16名が在籍。中止していたボランティアとの日本語会話交流を各クラス月1回で実施を再開し、徐々にコロナ禍前の状況に戻りつつある。また、II世代が定年退職の年代になり、II世の新たな受講申込があった。

### (7) 兵庫県医療通訳研修会実施業務

2月に医療・介護の知識、通訳技術について計8回講座を開講し、延べ221名の出席があった。

## IV. 青少年育成事業

### 1. 青少年活動

こども部は、昨年度に引き続き梅田会員部委員会に属するグループとしてリーダートレーニングを中心に活動を展開。運営はリーダー会が担い、会合をオンラインにて定期的に開催した。また、12月には梅田会員部委員会と共催でクリスマス会を行った。

リーダートレーニングは、野外活動技術の習得及び新規リーダーへの継承を目的に年2回実施。5月には9月の本番に先立ち、吹田市自然体験センターわくわくの郷(大阪府吹田市)において、竹を使ったバウムクーヘン作りを試行。炭に火をつける技術や竹を芯にして炭火でバウムクーヘンを焼く技術を習得した。この成果をもとに9月には、同じくわくわくの郷でリーダーOBとその子どもも加わり、家族で安全に楽しくバウムクーヘン作りに挑戦した。

12月には、梅田会員部委員会が毎年行っているクリスマス会にこども部として合流した。リーダーが北千里から子どもたちを引率し、梅田本館で午前中はゲームやクリスマスカード作り、午後に行われるゲーム大会の準備や讃美歌の練習をした。クリスマス礼拝の牧師先生のお話は子どもにも分かりやすい内容で、みんな集中して聞いていた。後半のゲーム大会では、大人も子どもも熱心に参加し大変盛り上がった。こども部と梅田会員部委員会が一つの企画をすることで、お互いのことが知り合えるよい機会となった。

3月には、梅田会員部委員会の「水餃子を作って食べよう!」に子どもたちが合流する形で「ぎょうざチャレンジ」を企画したが、参加申込みがなく中止した。今後、開催時期やプログラム内容を検討する必要がある。

### 2. 子ども図書室事業

今年度はようやく数年にかけて編集作業を行ってきた50周年記念冊子が完成した。未就学児が対象のちゅうりっぷくらぶは、親子が楽しく参加している。全体のミーティングや勉強会も定期的実施しており、子ども図書室は毎週水・金曜日に開館している。

大人のためのお話し会は春に梅田の会館で実施し、12月にはクリスマスおはなし会として千里で実施した。また

シャロン千里のお隣にある北千里あいこ保育園には、子ども図書室のメンバーが定期的に読み聞かせに行っており良い関係ができてきた。

### 3. 子育て支援事業

千里子育て支援委員会は、今年度もおやこひろばを実施した。子どもたちの健やかな成長を見守るだけでなく、母親にとっての憩いの場になるような場づくりを心掛けた。12月にはおやこひろばのリトミック講師の協力をえて、クリスマスキッズコンサートを開催した。ピアノ、ギター、パーカッション、そしてヴォーカル2名によるコンサートはとても楽しく盛り上がったイベントとなった。

ママズカフェメンバーの有志が集まるお菓子作りグループ「ゲーテドマン」は月1回で活動。バザーやガレージセールでは作ったお菓子を販売し売り上げに貢献した。

## V. ボランティア養成事業

### 1. 梅田

梅田会員部主催で年間を通じた様々な世代の交流、会員親睦などの活動を行っている。

傾聴関連活動の傾聴カフェ・ラベンダーは、今年度は月に2回、開店している。研修会は例年通り、臨床心理士の井ノ崎敦子氏を講師に招き実施した。

7月には、ご寄贈頂いた無農薬の紫蘇で紫蘇ジュースを作った。また毎月第3水曜日に、留学生に提供するベジスープのスープの日に合わせてパラダイス&ランチのパンも販売している。

12月の会員クリスマス会は、こども部と共催で開催した。第一部礼拝では、山崎道子牧師（日本キリスト教団豊中教会）から、子どもにも分かりやすいメッセージをいただいた。第二部ではこども部によるゲーム大会を楽しみ、その後はティーパーティを行った。

会員ルームでの「きまぐれバザー」は、6月に10日間、11月に2週間開店した。10月には1日限りの古着詰め放題をし、1月には陶器市を開催した。

ここ数年はコロナの影響でできなかった水餃子作りが中国帰国者のご協力を得て、久しぶりに実施することができた。3月には「水餃子を作って食べよう！」という会を企画し、おとな12名、こども1名が参加し本場の水餃子を皆で一から作って美味しくいただいた。

講座としては、昨年に引き続き今年も帝塚山大学客員教授の牟田口章人氏を講師に迎え「誰も知らなかった京都の御所」の講座を行った。一般に公開されている部分から奥の天皇一家のお住まいだった非公開の空間までご紹介していただき好評であった。

梅田会員部所属グループは現在15あり、約100名のメンバーが自主活動を展開している。リーディンググループ、むらさきつゆくさの会、みのり会、英会話サロン、聖書を学ぶ会、スウスの会、いのちを語る会、絵手紙の会、手話サークル、ソーパークーピングの会、多文化共生ワークショップ、平和・環境グループ、こども部、グループベジスープ、パレスチナグループが活動を行っている。

### 2. 千里

今年度は6月にバザーを10月にはガレージセールを、入場制限を設けることなく実施した。飲食コーナーは設けなかったが、地域の方から多数の来場がありどちらも大変にぎわった。ようやく本来の活動を徐々に取り戻し活動にも活気が出てきた。11月には久々に水餃子作りを実施した。ゲーテドマンのメンバーが多数参加し、新旧の会員メンバーが交流を深め大変有意義な活動となった。今後も毎年続けていければと考えている。

クリスマス会では、大阪城北教会の山口義人牧師を迎えクリスマス礼拝をおこなった。その後は、アンサンブルアルメリアによるハープとライアーの演奏があり優しい音色に心温まるひと時となった。クリスマスミニセールは販売場所をシャロン千里玄関近くに移し予定通り行った。

1月には数年ぶりにピアノコンサートを実施した。ピアニストの堀江詩葉さんを迎え、久々に実施する大きなイベントになり多くの方が来場し盛況であった。最後には皆で讃美歌を歌い清々しい空気に包まれた。

毎年恒例の毛糸の帽子を編んでみよう会は今年も多くの方のご協力により全国から256個の帽子が集まり、歯ブラシ、固形せっけんなどと共に釜ヶ崎に贈ることができた。

千里合唱団は、毎週木曜日に活動を行い、12月には今年もクリスマスチャペルコンサートを千里阪急ホテルにて実施した。コンサートでは千里ハンドベルクワイアも参加し、美しい音色が響くうっとりとした心温まる時間となった。

聖書を読む会は、今年も大阪城北教会の東島美穂牧師を講師に迎え順調に月1回の例会を開いた。サロン四季のグループも充実した活動を展開。文月会は順調に月1回で活動し、Bridgesは新規メンバー募集にも力を入れzoomを活用しつつ活動を行った。アトリエ創も定例の月2回の活動を順調に開催し、バザーやガレージセールにも出店した。趣味のグループ生け花、水彩画はおおむね予定通り開催している。月に一度の貴重な憩いのひと時となっている。

### 3. ボランティアの受け入れ

電話やホームページからの問い合わせを受け、その都度、個別での対応を行っている。1年間のボランティア登録者数は17名。昨年度が4名だったことを考えると、コロナが5類となり、社会活動が活発になってきたことが感じられる。傾聴カフェ・ラベンダー、点字こども図書室、バザー等の活動につながった。

### 4. ファンドレイジング

#### (1) クリスマスバザー実行委員会

今年度も運営委員会が実行委員会を兼ね、普段活動している委員会やグループ単位で売り場を担当する形で開催した。今年度は、喫茶コーナーを再開。コーヒーや紅茶を飲みながら、購入した手作りのお菓子をその場で食べられるようにした。外商には新規1店を含む9の店舗が出店、魅力的な品々で会場を盛り上げていただいた。また、コロナ禍前には、毎回来場者の楽しみの一つだった似顔絵コーナーも再開できた。午後3時間のみで開催であったが、働き人94名を含む346名が来場。お買い物を楽しみ、旧交をあたためる楽しい1日となった。

ご寄贈品をお送りいただいた企業や個人の皆様、ご来場くださった皆様、働き人の皆様に深く感謝をしたい。

日程：2023年12月2日（土）13：00～16：00 来場者：約346名（働き人、職員含む）

#### (2) ワイワイお食事会

コロナ禍で食事を伴う催しが長く開催できなかったが、今年度は久しぶりに「大阪YWCAワイワイお食事会」と銘打って「レストラン愛」を貸し切って交流の場を持った。会員に加えなつかしい元青少年部のリーダー、初めてのお客様を迎え賑やかな会となった。ボランティアによる華やかなフラダンスや心に響くサクソフォンアンサンブルの演奏などを楽しみながらの食事とおしゃべりにあつという間に時間が過ぎていった。正に大阪YWCAらしい笑顔と活気にあふれるひとときであった。

日程：2023年9月17日（日） 参加者：41名

### 5. 運営委員会

運営委員会では、世界YWCA日集会、ピースフェスティバル、クリスマスバザー、定期会員集会の企画・運営を行った。また、定期会員集会后、「大阪YWCA文化祭 Welcome to Osaka YWCA～来て、知って、つながろう！～」を実施。各部委員会、グループのメンバーによるステージでのアピールやワークショップ、展示などが行われ、多彩な活動が紹介された。初の試みであり、運営面での課題はあったが、出展者の大変積極的な関りに助けられ、よい催しとなった。

\*定期会員集会&大阪YWCA文化祭 Welcome to Osaka YWCA～来て、知って、つながろう！～

日程：2024年3月2日（土）13：00～16：30

出席者：92名（定期会員集会の出席者 54名 陪席 1名 文化祭のみ参加者 37名）

出展：28グループ（展示 16、ワークショップ 9、ステージ発表 8）

※内、展示+ステージ発表 4、ワークショップ+ステージ発表 1

## VI. 広報

### 1. 機関紙

発行回数は、定例機関紙 [A4版4頁] 年6回。今年度も2月の特別号 [A3版両面] の発行はなかった。

定例版の1面は主に外部執筆者にその時々課題を明確にする寄稿を依頼、2～3面は、YWCAの関心事や活動テーマを掘り下げる内容となっている。1～3面で取り上げたテーマは、反戦、平和問題、被害者支援、外国人の人権問題、日本語教育等。4面には、専門学校を始め大阪YWCAに関わる報告やイベントの広報を主に掲載した。連載では、『ぶどうの木』、『YWの窓』、『わたしのイチオシ』を継続した。

## 2. ホームページ・WEB 関連

今年度のホームページからの問い合わせ（専門学校を除く）は、年間 79 件。問い合わせ対象で主だったのはバザーやボランティア活動、各種講座等に関する内容だった。グループ活動では、カフェラベンダーや手話サークル knot、点字こども図書室、毛糸の帽子を編んでみる会についての問い合わせが多かった。ホームページの閲覧数では手話サークル knot が 1 番多く、続いて傾聴カフェラベンダー、イベントカレンダー、ボランティア募集がよく見られていた。国別の閲覧数では、日本以外ではモンゴル、台湾、米国などが上位となった。

## Ⅶ. 日本 Y ・他市 Y ・他団体関係

沖縄YWCAと共催で、日本YWCAの地域YWCAを主体とした活動助成（LA:Local Action）事業「沖縄と大阪を結んで女性の人権とジェンダーの課題を考える」を実施した。（詳細については、2. 平和・環境についての学習と啓発事業の項を参照）

世界YWCA日集会は、2023年3月にニューヨークで行われたCSW（国連女性の地位委員会）の報告会を行った。ゲストスピーカーの草薙柚季さんは、2022年度のインターンシップ参加者。会議の様子だけでなく、国連という場にも関わらず、弱者の参加に対する配慮がなく、セーフスペースになっていないのではないかと、という問題提起などもあり、すばらしい報告だった。YM/YW合同祈祷週集会は「Seeds to Blossoms 種から花へ」をテーマに、大阪YMCAで行われた。日本基督教団浪花教会の川江亜希子牧師による礼拝の後、4年ぶりに食事を共にした交流会を行った。各Yからの活動報告では、女性エンパワメント部が中心に行っているユース育成のプログラムと沖縄Yと共に実施しているLA企画が紹介された。

他団体関係では、国際女性年大阪連絡会に事務局団体として参画し、8月と3月に行われた集会の企画、運営を担った。また、ワンワールド・フェスティバルに出展し、活動紹介と共にジェンダーチェックやガザ即時停戦のアピールを行った。

## Ⅷ. 収益事業

社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会の経営する大宮保育園に対して、本財団の大宮町の土地・建物を貸与。また、同じく同福祉会の事務業務の一部を受託した。

## 資料

### I. 教育事業

#### 1. 専門学校事業

##### (1) 全体概要

###### ◇会議

- \*学校広報ミーティング 10回実施 延出席数46名
- \*日本語本科 受入れミーティング 1回実施 延出席数3名

###### ◇外部団体会合への参加・出席

- \*大阪府専門学校各種学校連合会
  - ・専修学校グローバル化対応推進支援事業留学生委員会ワーキング会議(9回) 中山羊奈
  - ・専門学校教職員向けセミナー「ネパール学生急増にどう対応するか」 8/24 川崎仁子、中山羊奈
  - ・専門学校教職員向けセミナー「教職員が知っておきたい『通じる日本語』」 10/26 中山羊奈
  - ・専門学校教職員向けセミナー「ミスマッチを起さない就職支援」 1/25 中山羊奈
  - ・海外教育機関向けのオンライン出前授業 11/7、8、27 氏原庸子、川崎仁子、中山羊奈
- \*全国専門学校日本語教育協会
  - ・臨時総会(オンライン) 4/27 川崎仁子、中山羊奈
  - ・日本語教育機関認定法説明会(オンライン) 7/14 川崎仁子、中山羊奈
  - ・新しい法律に関する勉強会(オンライン) 12/15 川崎仁子
  - ・全国専門学校日本語学習外国人留学生日本語弁論大会実行委員会(オンライン) 12/27、1/29 永嶋里香
  - ・全国専門学校日本語学習外国人留学生日本語弁論大会 2/5 池田敬子、影島充紀、川崎仁子、佐伯玲子、永嶋里香、連之新、学生15名
  - ・総会、総会企画(オンライン) 3/19 川崎仁子、中山羊奈
- \*日本語教育振興協会
  - ・日本語学校教育研究大会「新たな時代における日本語学校と日本語教師—制度化とAI時代の中で—」(オンライン) 8/5 清島千春
- \*文化庁
  - ・認定日本語教育機関の認定基準等の検討に関するワーキンググループ(オンライン) 6/21、7/21、8/29 川崎仁子
  - ・登録実践研修機関及び登録日本語教員養成機関の登録手続き等の検討に関するワーキンググループ(オンライン) 6/26、7/24、8/30 氏原庸子、川崎仁子、藤原裕美子
  - ・日本語教育小委員会(傍聴)(オンライン) 7/25、9/26 川崎仁子
  - ・登録日本語教員の資格取得に係る経過措置における日本語教員養成課程等の確認についての説明会(オンライン) 11/13 川崎仁子
  - ・日本語教育機関認定法の施行及び日本語教員養成の経過措置等に関する説明会(オンライン) 12/20 川崎仁子
  - ・日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律に関する説明会(オンライン) 1/22、2/14 氏原庸子、川崎仁子
- \*日本語教育機関関係団体連絡協議会
  - ・「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」オンライン説明会 6/30 川崎仁子
  - ・省令案に関する文化庁国語課による説明会(オンライン) 8/31 川崎仁子
  - ・省令案に対する日本語教育機関団体連絡協議会要望に関する説明会(オンライン) 9/13 川崎仁子
- \*その他
  - ・株式会社アクセスネクステージ主催 留学生サポートフォーラム2023(オンライン) 4/19 影島充紀
  - ・名古屋YWCA 夏期集中コース打ち合わせ(オンライン) 4/19 川崎仁子、中山羊奈
  - ・株式会社アクセスネクステージ主催 日本留学フェア日本語学校教員対象説明会 5/16 影島充紀、田村亜津子
  - ・凡人社主催 にほんごサロン研修会「やさしい日本語」普及のための教材『にほんごこれだけ!』(オンライン) 6/17 影島充紀
  - ・大阪働き方改革推進支援・賃金相談センター主催 外国人労働者雇用啓発セミナー(オンライン) 6/20 川崎仁子
  - ・専門学校アートカレッジ神戸主催 AKI 神戸キャリアフォーラム2023 8/7 影島充紀、田村亜津子、学生4名
  - ・ECC 国際外語専門学校主催 日本語学校教職員対象学校説明会 8/8 川崎仁子
  - ・大阪市保健所主催 大阪市日本語教育機関オンライン講習会「結核について」(オンライン) 8/9 川崎仁子
  - ・YAHOO JAPAN 主催 NPO向け活動紹介動画の作り方講座(オンライン) 8/29 奥美和子
  - ・全国日本語教師養成協議会主催 新法の省令等に関するパブコメ説明会(オンライン) 8/30 奥美和子

- ・日本財団主催 ウクライナ避難民支援シンポジウム「避難民と共に考える、これからの共生・活躍社会」(オンライン) 9/19 川崎仁子
- ・国際日本語研修協会主催 日本語テキスト活用セミナー「できる日本語活用研修」(オンライン) 10/21、10/28、11/4、11/11、12/2 影島充紀
- ・専門職高等教育質保証機構主催 日本語教育の質保証に関するシンポジウム(オンライン) 11/1、2/1 川崎仁子、島千尋
- ・日本学生支援機構東京日本語教育センター主催 「日本語教育機関教員と高等教育機関留学生教育担当者との研究協議会～ChatGPTの日本語教育への活用～」(オンライン) 12/17 井関幸、氏原庸子、影島充紀、田村亜津子

◇外部来訪・訪問

- ・香港 SHIN ランゲージセンター来訪 12/5 3名 奥美和子、川崎仁子

◇その他

- ・大阪出入国在留管理庁実地調査 12/5 4名 川崎仁子、永嶋里香

(2) 日本語学科/本科・日本語第二学科

◇クラス数/学生数 ※モーニング会話クラス受講含む

クラス数		学生数				
		1年	1.5年	第二学科	一般	合計
春期	4	26	19	11	24	80
秋期	5	26	33	11	20	90

◇出身国と地域

中国、台湾、韓国、インド、タイ、ネパール、ベトナム、マレーシア、シンガポール、インドネシア、バングラディシュ、ミャンマー、モンゴル、アメリカ、アルゼンチン、ニュージーランド、トルコ、ウクライナ、スペイン、フランス

◇会議

- 日本語本科ミーティング 4回実施 出席延数21名
- 中間講師会 6/27、11/28 出席延数55名
- 春期報告会 9/20 出席9名
- 全体反省会 9/22 出席延数25名
- 担任会 9/28、3/18 出席延数19名
- 全体講師会 10/5、3/29 出席延数75名
- 予備教育講師会 2/13 出席7名
- 卒業判定会議 3/6 出席10名
- モーニングコース会議 3/19、26 出席4名

◇進学指導・生活指導関係

内容	回数もしくは日程	出席者数
実力テスト	6回	428 (受験者のみ)
文法テスト	6回	432 (受験者のみ)
定期テスト (5科目)	4回	900 (受験者のみ)
生活相談	延19日	104
ビザ更新手続き説明会	4/26	8
日本留学試験	6/18、11/12	12 (受験者のみ)
日本語能力試験	7/2、12/3	96 (受験者のみ)
進学説明会	6/19、7/11、1/30	131
留学ビザ講習会 (講師: 行政書士法人 YUGE OFFICE)	8/22	49
継続生クラス分けテスト	9/12、2/29	99 (受験者のみ)
新入生クラス分けテスト	4/5、7、10、5/29、10/2、3/25	44 (受験者のみ)
第二学科進学説明会	1/18	23
第二学科面接	2/7、8	20 (学生のみ)
予備教育: 総合科目 4月～11月 30回 英語 4月～11月 27回 数学 4月～11月 28回		
午後2 漢字クラス: 4月～9月 (3クラス) 週3回、(1クラス) 週2回 10月～2月 (3クラス) 週3回、(2クラス) 週2回		

◇年中行事・校外学習・課外活動プログラム・特別授業

内 容	回数もしくは日程	出席者数
入学式・クラスオリエンテーション	4/4、10/11	156
新入生オリエンテーション	4/5、13、10/10	56
校外学習	5/2、11/2	131
健康診断	6/28、7/13、12/15	167
消防訓練（ホテルアンピールと合同）	9/4	70
留学生基礎力講座「防災・健康・防犯」	9/12、20、10/25	170
日帰り旅行（伊賀上野方面）	9/15	63
校内スピーチコンテスト	9/22	75
クリスマスパーティー実行委員会	12/5、12、19	52
交通安全オリエンテーション	12/21	50
クリスマスパーティー	12/22	87
上級クラス会話交流会（大宮保育園訪問）	2/29	60
学習発表会	3/8	90
卒業式	3/13	105
日本語教師向け「ハラスメント研修」	6/27	28
日本語教師向け「青少年期のメンタルヘルス研修」	3/29	42

◇学生受け入れ

ZOOM 面接 2023 年度 10 月生 8 回 47 名  
 2024 年度 4 月生 12 回 68 名  
 2024 年度 10 月生 3 回 13 名

(3) 日本語学科／別科

◇イブニングコース

春期：4 クラス 25 名 秋期：4 クラス 15 名

出身国/地域：中国、台湾、韓国、香港、ネパール、フィリピン、インド、インドネシア、イギリス

◇日本語能力試験準備コース

春期：1 クラス 4 名 秋期：2 クラス 4 名

出身国/地域：中国、フランス、アメリカ

◇夏期集中コース

3 クラス 19 名

出身国/地域：中国、台湾、香港、タイ、イギリス、アメリカ、オーストリア

オプショナプログラム ティーパーティ 7/18 24 名

天神橋筋商店街散策&大阪天満宮 7/25 10 名

書道体験 7/26 12 名

大阪くらしの今昔館 7/27 6 名

お好み焼きパーティー 7/28 11 名

造幣局見学 8/1 13 名

ちぎり絵のウチワ作り 8/2 8 名

浴衣体験 8/4 15 名

修了式&修了パーティー 8/4 40 名

◇プライベート・出張授業 17 件

◇プレイメントテスト

イブニングコース 春期プレイメントテスト 4/7、18、24 12 名

イブニングコース 秋期プレイメントテスト 9/29 6 名

日本語能力試験準備コース 秋期レベルチェックテスト 8/28、30 4 名

夏期集中コース プレイメントテスト 7/14 9 名

◇会議

イブニングコース 春期講師会 4/14、6/12 13 名

イブニングコース 秋期講師会 10/6 8 名

イブニングコース 春期中間講師会 6/26 2 名

イブニングコース 秋期中間講師会 11/24、12/11、12 8名  
 日本語能力試験準備コース 春期講師会 4/4 6名  
 日本語能力試験準備コース 秋期講師会 9/5 6名  
 夏期集中コース 担任会 7/7 7名  
 夏期集中コース 講師会 7/15 12名  
 夏期集中コース 反省会 8/4 5名

**(4) 奨学金**

奨学金名称	受給者名	受給額
大阪YWCA留学生里親の会奨学金	バトエルデネ ビルグーンバヤル (モンゴル) カイ ダジン (ミャンマー)	月額30,000円 (6ヶ月)
鈴木保奨学金	ダラマバザル セルゲレン (モンゴル) エルデネバートル ゴルジャルガル (モンゴル)	月額30,000円 (6ヶ月)
仙台宮城野奨学金	ビャンバジャウ ザナバザル (モンゴル) アマラサナ ニンジン (モンゴル)	月額30,000円 (6ヶ月)
大阪YWCA奨学金	スヘバートル ガンブリグ (モンゴル) シネバートル アヌ (モンゴル) 連 之新 (台湾)	月額30,000円 (6ヶ月)

**2. 日本語教師を育成する事業**

**(1) 日本語教師養成講座**

◇**新規入学者** 春期・秋期 募集停止

◇**在籍数** 6名

◇**講義回数** (年間総時間数420単位のうち、実践・応用コース103時間)

		月・金	火	水	木	土	計
春期	応用	40	—	—	—	—	40
	基礎	—	—	—	—	—	—
秋期	応用	40	—	23	—	—	63
	基礎	—	—	—	—	—	—

◇**修了生数** 6名

◇**プログラム**

\*中国帰国者クラス会話授業 9/11 参加者：1名

\*日本語本科会話授業 2/7 参加者：1名

◇**会議**

日本語教師養成講座・日本語教師会合同ミーティング 5回実施 出席延数23名

**(2) 日本語教師会事業**

◇**会勢** 新規入会者7名 総会員数202名 (内休会52名)

◇**月報** 「マンスリー日本語教師会」の発行 (12回)

◇**図書・テープの貸し出し状況** 図書 53冊、視聴覚教材 0本

◇**入会オリエンテーション** (日本語授業プレゼンテーション含む) 1/27 17名

◇**講座・研修会・研究会・プロジェクト**

①新人講師研修会 全11回 対象者9名

②日本語教師ビギナーのための日本語初級文型の教え方講座 (ハイブリッド) 講師：氏原庸子 全12回 6名

③初級文型との違いがわかる！日本語中級文型の教え方講座 (ハイブリッド) 講師：氏原庸子 全12回 8名

④日本語教育能力検定試験対策講座 (ハイブリッド・オンデマンド) 講師：島千尋

第一期：全5回 10名 第二期：全6回 13名 第三期：全8回 13名 第四期：全8回 14名

⑤春の日本語教育セミナー (第1・2回はハイブリッド)

第1回「雑談による関係構築の力を伸ばす日本語会話教育」 講師：高井美穂 全1回 25名

第2回「日本語教師のためのイラストセミナー 動作を描こう！」 講師：児島弥生 全1回 20名

第3回「外国にルーツを持つ子どもへの日本語学習支援 ケーススタディー編」 講師：辻村文子 全1回 26名

⑥文法・構文研究会 全11回 メンバー7名

⑦10代のための夏期集中コース 延3日 3名



◇日本語教育状況

学校・コース名	教師数			
	春期	夏期	秋期	冬期
専門学校日本語学科全日制	27	26	30	—
〃 モーニング会話	5	—	9	—
〃 イブニング	8	—	8	—
〃 能力試験準備	2		4	
〃 夏期集中		11		
〃 10代のための夏期集中		2		
〃 ビジネス日本語上級クラス	3	—	4	—
〃 〃 特別クラス	2	1		
近畿中国帰国者支援・交流センター	17	—	17	—
中国帰国者支援事業日本語コース梅田教室(大阪市)	3	—		
〃 平野教室	2	—		
〃 東淀川朗朗クラブ	1	—		
〃 門真教室	2	—	2	—
〃 京都教室	2	—	2	—
〃 堺 健老クラブ	3	—	3	—
プライベート及び出張授業	17件／教師29名			

◇外部出張（講師として）

- ①生駒市「日本語学習支援ボランティア研修」 全1回 里井有里
- ②和泉市「日本語ボランティア スキルアップ講座」 全1回 坂本由美子
- ③大阪市立総合生涯学習センター「にほんごこんには(基礎レベルの日本語教室)」全60回  
伊東和子、大町暁美、川村清美、林昌子、日山弘子
- ④同上「識字・日本語ボランティアのためのスキルアップ講座」 全3回 伊東和子
- ⑤かいづか国際交流協会「日本語ボランティア対象講座」 全1回 児島弥生
- ⑥ダイキン工業日本語グループ研修 (ZOOMオンライン) 全18回 芝田知子
- ⑦トラベルジャーナル学園日本語授業 5クラス 池田敬子、大町暁美
- ⑧阪南市日本語クラブ「日本語指導者養成講座」 全2回 山田登
- ⑨枚方市「日本語ボランティア養成講座」 全8回 大西雅子、坂本由美子、森山孝子  
受付業務担当：川崎仁子、藤原裕美子
- ⑩同上「日本語ボランティア ステップアップ講座」 全3回 大西雅子、坂本由美子、森山孝子  
受付業務担当：川崎仁子、藤原裕美子
- ⑪枚方市日本語ボランティアの会「スタッフ研修会」 全1回 辻村文子
- ⑫松原市「日本語学習支援パートナー入門講座」 全2回 辻村文子
- ⑬守口市「日本語学習支援ボランティア養成講座」 全8回 大西雅子、永持京子、林昌子
- ⑭八尾市立八尾中学校夜間学級職員研修 全1回 伊東和子
- ⑮大和郡山市「日本語教室スタッフ スキルアップ講座」 全1回 里井有里
- ⑯立命館大学「上海交通大学カスタムプログラム」 全20回 3クラス  
井関幸、池田敬子、氏原庸子、大西雅子、岡裕美、清島千春、児島弥生、佐伯玲子、林昌子、藤原純一、森山孝子、吉田紀子

◇外部集会・研修参加

- ①大阪観光局「留学生支援コンソーシアム大阪」(オンライン) 5/11、12/7、2/8 氏原庸子、川崎仁子
- ②大阪市立総合生涯学習センター「識字・日本語ボランティアのためのスキルアップ講座」打合せ  
6/13 氏原庸子、川崎仁子、藤原裕美子
- ③大阪市教育委員会「令和5年度 総合調整会議」 6/19 伊東和子
- ④枚方市日本語ボランティアの会「スタッフ研修」打合せ 8/21 氏原庸子、藤原裕美子
- ⑤トラベルジャーナル学園日本語授業 打合せ(訪問) 8/30 大町暁美
- ⑥大阪市立総合生涯学習センター 訪問 9/1、3/1 川崎仁子、藤原裕美子
- ⑦立命館大学日本語プログラム打合せ(オンライン) 10/17、12/26 氏原庸子、川崎仁子、藤原裕美子
- ⑧枚方市「日本語ボランティア養成講座・ステップアップ講座」打合せ(訪問) 11/8 藤原裕美子
- ⑨立命館大学日本語プログラム振り返り会(オンライン) 3/7 氏原庸子、奥美和子、川崎仁子
- ⑩トーステ株式会社 訪問 3/7 氏原庸子、川崎仁子

⑪大阪市教育委員会 来訪 3/12 氏原庸子、川崎仁子

⑫日本語教師養成・研修推進拠点整備事業(近畿ブロック)準備会議(オンライン) 3/23 氏原庸子、奥美和子

⑬トラベルジャーナル学園 来訪 3/29 大町暁美、佐々木暁美、森下のり子、森山孝子

### 3. 生涯学習の各種クラス・講座

#### (1) ランゲージ

##### ◇クラス状況

科目	春期		秋期	
	クラス数	在籍数	クラス数	在籍数
韓国語	2	8	2	6
ベトナム語	2	7	1	4

##### ◇単発講座

内容	回数	延人数
韓国語講座「ハングルの歌を楽しむ会」	1	7

#### (2) 子どもと子どもの本の講座

##### ◇クラス状況

内容		回数	延人数
子どもと本をむすぶコース	ユニット1 子どもにことばを	2	26
	ユニット2 赤ちゃんに絵本を	6	33
図書館・学校ボランティアの ブラッシュアップコース	ユニット1 子どもとわらべ唄	6	89
	ユニット2 子どもに絵本を	4	26
	ユニット3 子どもに本を手渡すために	4	27
ストーリーテリングをたのしむコース		6	26
児童文学をたのしむ特別講座		7	82

##### ◇単発講座

内容	回数	延人数
講演会「子どものイメージの世界と実体験」	1	33

##### ◇外部集会・研修参加

- ①世界人権宣言大阪連絡会議 国際人権規約連続学習会『こども基本法』『こども家庭庁設置法』を読む 5/25 奥美和子
- ②大阪市ボランティア・市民活動センター 大阪市ボランティア活動振興基金助成交付式 5/26 奥美和子
- ③池田市人権教育研究協議会 第52回池田市人権教育研究協議会夏季研修会 8/2 奥美和子
- ④国立青少年教育振興機構 2024年度子どもゆめ基金助成活動募集説明会 10/13 桑原静枝
- ⑤非営利活動のための助成プログラムSOCIALSHIP SOCIALSHIP助成オンライン事前説明会 10/13 奥美和子
- ⑥日本NPOセンター・一般財団法人若草プロジェクト 女性のライフサポート研修 10/20、21 奥美和子
- ⑦大阪府人権協会 おおさか相談フォーラム 2/2 奥美和子
- ⑧大阪府府民文化部人権局 人権相談・啓発等事業説明会 2/21 中山羊奈
- ⑨大阪府府民文化部人権局 人権相談・啓発等事業選定委員会 3/19 中山羊奈

#### (3) 生涯学習・教養講座

講座名	講師	回数	受講者(延人数)
俳句講座(紙上)	松田美子(俳人高浜虚子の孫・俳誌「春潮」主宰)	11	132

## II. 平和・人権・環境等国内外の社会問題についての学習及び普及啓発と人材養成事業

### 1. 人材育成・研修事業

##### ◇連続講座

講座名	開講日	延人数
子どもの声を聴くための基礎講座	10/28、11/18、12/9	25
多様な地域社会を支えていくための傾聴力養成講座	1/13、20、27、2/3、10	75

◇外部講座

依頼先	内容	日程	延人数
企業研修	新入社員ビジネスライティング研修	4/27	11
	コーチング実践研修	5/15、16	18
	課長研修	6/7、8	29
	コーチング実践研修	6/19、20	24
	採用面接研修	7/13	60
	コーチングレベルアップ研修	7/12	12
	課長研修	7/4、5	30
	組織コミュニケーション研修	8/26	50
	コーチングコミュニケーション研修	11/10	17
	管理職研修	11/20、21	29
	組織コミュニケーション研修	11/25	50
	コミュニケーション・スキルアップ	12/5	24
	5年目研修	2/1、2	9
	新任課長研修	2/6、7	16
	新任課長補佐研修	2/8、9	16
	2年目研修	2/20、21	7
管理職研修	2/15、16	31	

2. 平和・環境についての学習と啓発事業

(1) ピースフェスティバル

プログラム名	講師等	集会日	参加者
ピースフェスティバル2023 私たちのカラフルコミュニケーション	マキン・サンサン・アウン 渡邊さゆり	9/9	49

(2) 沖縄と大阪を結んで女性の人権とジェンダーの課題を考える（日本YWCA地域YWCAを主体とした活動助成事業）

◇公開講座

プログラム名	講師等	集会日	参加者
沖縄の貧困が若年女性たちに及ぼす影響 ～夜の街で働く女性たちへのインタビューを通して～	沖縄キリスト教学院大学学生 山城莉乃	7/22	46
部落女性の立場から家長制と部落差別を考える	川崎那恵	8/26	43
もっとまぜてみよう！世界はもっとオモシロイ ～改悪入管法反対アクションエトセトラ～	渡邊さゆり	9/9	45
沖縄の10代ママを通して見える世界～「おにわ」での支援より～	伊礼ゆうき	9/23	38
在日二世である私が私であるために～一歩踏み出せば風は変わる～	新井深絵	10/28	30
LGBTQ+のこれからについて話そう ～ふたりママになる選択の壁と希望～	Mato	11/18	24

◇会議等

プログラム名	集会日	参加数（内大阪Y）
全体ミーティング	6/17、1/23、2/23	22（12）

3. 国際的な諸問題についての学習と啓発事業

◇主催事業

プログラム名	集会日	参加者
サイレント・アピール「Silent Night for GAZA」	12/23、24、25	延べ24

4. 東日本大震災被災者支援

集会名	日程	参加者数（内職員）
街頭募金	3/10	3（1）

### Ⅲ. 社会的に弱い立場におかれた人への支援事業

#### 1. 知的障がいをもつ女性の社会参加を促進する事業

##### (1) グループパレット (知的障がいをもつ女性たちのグループ活動)

◇2023 年度登録者数 12 名

##### ◇プログラム

集会名	集会日	参加人数
例会	年間 11 回	延べ 121
家族の集い	—	—

#### 2. 視覚障がいをもつ人の社会参加を支援する事業

##### ◇点字子ども図書館

	回数/年	延人数	貸出対象人数	貸出タイトル数	貸出冊数
点字図書製作	45 回	914	49	120	176
点字図書貸し出し	48 回	109			

##### ◇視覚障がい者支援

グループ名		回数	延人数
リーディング	エコー	7	17
	ぼれぼれ	0	0
むらさきつゆくさの会	受講生	11	64
	ボランティア		74

#### 3. 高齢者の社会参加を促進する事業

##### ◇配食サービス

回数/年	配食数/年	総数/年	調理働き人/年	運転働き人/年
48	2,895	4,248	492	192

##### ◇主催事業

行事名	集会日	延人数
講演会「中村哲さんに学ぶ」	4/15	36
講演会「今を生きるコツ ～よりよく生きるために～」	3/16	40

#### 4. 女性のエンパワメント推進事業

##### ◇プログラム

プログラム名	回数・集会日	人数
くれよん月例会「私らしく咲く」	11	52
カウンセリング	2	2
インターンシッププログラム 2023	15	117
Rise Up! School Visits 2023	15	89
関西学院大学 YWCA	11	48
Rise Up! School Visits! (中高生向け包括的性教育プログラム) ガールスカウト大阪府第 61 団 出張ワークショップ 「同意のある関係性づくり ～私の Yes はあなたの Yes?～」	2/4	11
Rise Up! School Visits! (中高生向け包括的性教育プログラム) 大阪 YWCA 文化祭 出張ワークショップ 「同意のある関係性づくり ～私の Yes はあなたの Yes?～」	3/2	13
Rise Up! School Visits! (中高生向け包括的性教育プログラム) プール学院中学校・高等学校 出張ワークショップ 「同意のある関係性づくり ～私の Yes はあなたの Yes?～」	3/18	17

◇外部集会・研修・会議等

プログラム名	集会日	参加数 (内大阪Y)
関西学院大学 チャペルトーク	5/25	約 300(1)
関西学院大学 総合政策学部 村瀬ゼミ 出張授業 「ジェンダー・フェミニズムを自分ごとに」	7/3	11(1)
ワンフェス for Youth	12/17	約 800 (6)
ワン・ワールド・フェスティバル 出展	2/3、4	約 24,000 (10)

5. 中国残留邦人等への支援事業

(1) 近畿中国帰国者支援・交流センター (厚生労働省委託事業)

◇クラス状況

\*通学学習課程 (春・夏期 9月末在籍者)

クラス	在籍者数
集中日本語	5
日本語B	6
日本語D-1	7
日本語D-2	9
日本語E	8
日本語F	12
日本語G	7
日本語H	13
上級ビジネス日本語	11
日本語能力試験N3対策	9
日本語能力試験N2対策-A	9
日本語能力試験N2対策-B	11
日本語能力試験N1対策	13
観光・医療通訳技術	13
パソコン基礎	4
-	-
合計	137

\*通学学習課程 (秋・冬期 3月末在籍者)

クラス	在籍者数
集中日本語	4
日本語B	12
日本語D-1	7
日本語D-2	14
日本語E	14
日本語F	9
日本語G	7
日本語H	15
上級ビジネス日本語	7
日本語能力試験N3対策	17
日本語能力試験N2対策-A	10
日本語能力試験N2対策-B	6
日本語能力試験N1対策	12
観光・医療通訳技術	10
パソコン基礎1	6
パソコン基礎2	6
合計	156

\*遠隔学習課程スクーリング

コース名	延べ出席者数
おしゃべり文法	10
生活場面日本語「学校」	3
漢字学習 (上)	15
漢字学習 (下)	26
自己表現作文	4
入門日本語文法文型	3
職業訓練校入校 (国語)	10
日本語能力試験N2受験準備	2
合計	73

◇その他

\*校外学習「くらしの今昔館」 7/10 参加者：7名

\*作文発表会/和太鼓演奏 7/30 参加者：57名

\*集中日本語クラス「会話実習」 9/11 参加者：4名

\*校外学習「梨収穫体験」 9/20 参加者：25名

\*観光・医療通訳技術クラス 特別授業「日本の食文化～昆布と出汁～」 10/29

講師：吾妻屋取締役 向久保裕介 参加者：9名

\*日本語クラスD-1 クラス就労面接実習 3/10 講師：四天王寺大学助教 富田美幸 参加者：5名

\*校外学習「菜の花収穫体験」 3/27 参加者：16名

◇地域交流活動・行事

内 容	実施回数	延べ参加人数
朗朗クラブ 和・洋裁 I	42	197
朗朗クラブ 和・洋裁 II	33	105
朗朗クラブ 日本語	40	371
朗朗クラブ イキイキ体操	39	172
朗朗クラブ 健康体操	43	449
合 計	197	1294

「社交ダンス」は新型コロナウイルス感染予防のため実施しなかった。

◇相談事業 相談件数 475 件

◇介護支援事業

\*語りかけボランティア登録人数 77 名

\*語りかけボランティア活動状況

派遣人数	派遣回数	語りかけ対象者数	実施延べ数
6	18	3	26

\*実施地域 兵庫県

\*語りかけボランティア養成研修会～高齢者とのコミュニケーション～

3/9 講師：都村尚子 関西福祉科学大学教授 参加者：12 名

◇会議・研修会

\*全体講師会&中間講師会 全6回

\*新規非常勤講師オリエンテーション 全2回

\*中国帰国者支援・交流センター連絡会議 4/21 主催：厚生労働省 出席者：中山羊奈 坂東暁子

\*中国残留邦人に係る近畿ブロック担当者連絡会議 9/5 参加者：42 名

\*スクーリング講師研修会 主催：首都圏センター 出席者：清島千春

\*中国残留邦人等への理解を深めるシンポジウム 11/21 主催：尼崎市 共催：近畿中国帰国者支援・交流センター  
参加者：約100名 参加者：中山羊奈 坂東暁子

\*中国残留邦人等永住帰国者に対する就職援助事業の運営状況に係る会議（オンライン） 12/5 主催：厚生労働省職業安定局  
参加者：中山羊奈 坂東暁子

\*近畿府県支援・相談員合同研修会 2/16 主催：京都府 出席者：坂東暁子

\*八尾市中国帰国者支援交流会新年交流会 主催：八尾市中国帰国者支援交流会 出席者：坂東暁子

\*中国帰国者のための日本語教室ボランティア研修会 主催：兵庫県 講師：氏原庸子 出席者：坂東暁子

(2) 大阪市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

<春・夏学期>

クラス	受講者数
ゆっくり日本語B (梅田)	10
ゆっくり日本語C (梅田)	12
ゆっくり日本語D (梅田)	10
朗朗自習パソコン (梅田)	8
日本語A (平野)	4
日本語B (平野)	4
東淀川朗朗日本語	8
合 計	56

\*講師数 7名 \*講師会 年2回実施

\*体験学習 盆踊り 講師：高祖和代 8/18 4名

(3) 門真市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

<春・夏学期>

クラス	受講者数
日本語B	6
日本語C	3
合計	9

\*講師数 2名 \*講師会 4回実施

<秋・冬学期>

クラス	受講者数
日本語B	7
日本語C	4
合計	11

◇地域交流事業

\*朗朗クラブ 20回 延べ参加者数：125名

\*校外学習 9/20 「梨収穫体験」 参加者：18名

\*校外学習 3/27 「菜の花収穫体験」 参加者：13名

(4) 京都市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

クラス	受講者数
日本語A	2
日本語B	4
合計	6

\*講師数 2名 \*講師会 2回

◇関係機関、地域交流事業等

\*京都朗朗クラブ 5回 延べ参加者：39名

\*醍醐朗朗クラブ 6回 延べ参加者：29名

(5) 宇治市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業

◇身近な地域での日本語教育支援事業

クラス	受講者数
日本語A	2
日本語B	5
合計	7

\*非常勤講師数 2名 \*講師会 2回

◇関係機関、地域交流事業等

\*京都朗朗クラブ 2回 延べ参加者：11名

\*醍醐朗朗クラブ 3回 延べ参加者：17名

(6) 堺市中国残留邦人等に対する地域生活支援事業（堺健老クラブ）

◇身近な地域での日本語教育支援事業

<春・夏学期>

クラス	受講者数
日本語初級1A	7
日本語初級1B	10
日本語初級II	5
合計	22

\*非常勤講師数 3名 \*講師会 年4回実施

\*日本語会話交流 実施回数：17回 参加ボランティアのべ人数：62名

<秋・冬学期>

クラス	受講者数
日本語初級1A	5
日本語初級1B	8
日本語初級II	3
合計	16

◇地域交流事業他

\*校外学習 「あべのタスカル」防災体験 9/21 参加者数：11名

(7) 兵庫県「医療通訳研修会」実施業務

	時間	テーマ	内容	講師	出席者数
2/21	10:30～ 12:30	介護認定等、介護場面での 語彙と表現	介護場面での語彙、表現 の理解	にほんごサポートひまわり会 斎藤裕子	30名
	13:30～ 15:30	通訳技術トレーニング①	がん治療に関する 通訳演習	インタースクール大阪校 黒岩千尋 森山美幸 木村宣子	22名
2/27	10:30～ 12:30	高齢者のうつ・睡眠障害	診察/検査/治療/服薬	ほくとクリニック病院 深尾晃三	26名
	13:30～ 15:30	対応の難しい認知症の症状 徘徊・暴力・妄想等	診察/検査/治療/服薬	ほくとクリニック病院 深尾晃三	29名
2/28	10:30～ 12:30	通訳技術トレーニング②	脳神経外科での通訳演習	インタースクール大阪校 黒岩千尋 呂仁梅 木村宣子	24名
	13:30～ 15:30	めまい、手足のしびれの原因	脳卒中の 症状/診察/検査/治療	医誠会国際病院 向由美	31名
2/29	10:30～ 12:30	がん治療の日々の暮らしに 必要な情報 ～本人・家族を支援するために～	がん患者への理解と支援	大阪国際がんセンター 池山晴人	29名
	13:30～ 15:30	生活習慣病の薬	服薬管理	医誠会本部 藤原豊博	30名

IV. 青少年育成事業

1. 青少年活動

◇プログラム

プログラム名	場所	集会日	人数
リーダートレーニング	吹田市自然体験交流センターわくわくの郷	5/28、9/10	18
子どものためのクリスマス	大阪YWCA	12/9	9

2. 子ども図書室事業

◇主催講座

行事名	集会日	延人数
大人のためのクリスマスお話し会	12/8	47

◇プログラム

プログラム名	回数/年	延ボランティア数	延利用者数
ちゅうりっぷくらぶ	20	70	176

◇グループ活動

グループ名	回数/年	延人数
おはなしの部屋	9	143
ワークショップ	—	—
第一の会	7	106
第五の会	—	—

3. 子育て支援事業

◇プログラム

プログラム名	回数/年	延ボランティア数	延参加者数
おやこひろば	38	107	431
おやこひろばオーブンデー	5	—	72
ママズカフェ	11	—	115
ゲーテドママン	7	—	48



◇主催・共催講座

講座名	集会日	場所	人数
クリスマスキッズコンサート	12/22	大阪YWCAシャロン千里	62

V. ボランティア養成事業

1. 梅田

◇行事

行事名	回数	延人数
きまぐれバザー	4	71
クリスマス会	1	22
サイレントアピール	2	11
水餃子を作ってたべよう	1	14
「沖縄、再び戦場（いくさば）へ（仮）」DVD鑑賞会	1	5
誰も知らなかった京都の御所	1	18

◇作業会

活動名	回数	延人数
発送	13	56
パン販売	9	10
水餃子作り	1	8
きまぐれバザー仕事会	10	30
しそジュース作り	2	7

◇傾聴ボランティア活動

活動名	回数/年	延人数	
傾聴カフェラベンダーミーティング・勉強会	1	ボランティア	6
傾聴カフェラベンダー	20	来店者	71
		ボランティア	128

◇グループ活動

グループ名	回数	延人数	グループ名	回数	延人数
みのり会	9	66	スウスの会	11	58
英会話サロン	29	130	いのちを語る会	6	20
聖書を学ぶ会	11	121	絵手紙の会	8	23
手話サークル (knot)	12	161	ベジスープ	9	62
ソープカービングの会	11	48	こども部	12	50
平和環境部	11	55	多文化共生	0	0
パレスチナグループ	0	0			

2. 千里

◇行事

行事名	集会日	延人数
千里ミニバザー	6/3	170
千里ガレージセール	10/28	196
水餃子作り	11/21	23
千里クリスマス会	12/14	35
ピアノコンサート ～堀江詩葉さんを迎えて～	1/27	78

◇趣味のグループ

グループ名	回数/年	延人数
生花を楽しむ会	11	123
水彩画	10	69

### ◇グループ活動

グループ名	回数/年	延人数	グループ名	回数/年	延人数
聖書を読む会	10	118	アトリエ「創」	19	105
合唱団	40	1007	ブリジッツ	8	42
ハンドベルクワイア	37	439	文月会	9	72
サロン四季	12	46	生花グループ	44	176
使用済み切手整理	11	82			

### ◇作業会等

活動名	回数	延人数	活動名	回数	延人数
折姫	12	77	2階厨房大掃除	3	22
青葉の式	1	5	ミニバザーお仕事会	8	54
毛糸の帽子を編む会	1	2	ガレージセールお仕事会	7	61
大掃除	1	12	文化祭準備	1	3

## 3. ボランティアの受入れ

### ◇ボランティア説明

説明会（延人数）			
回数	ボランティア希望	職員	登録者数
16	36	16	17

## VI. 広報

### 1. 機関紙

#### (1) 発行の概要

◇回数 6回（6月、8月、10月、12月、2月、4月）

◇部数 各1,800部

◇サイズ A4版4ページ

◇配布先 会員・会友、専門学校生、クラス生、講師、賛助会員、賛助会社、各市YWCA、関係団体、講座・集会参加者、大阪市内各女性センター、他

◇広告協力会社 有限会社イースター式典社、株式会社オフィスインテリア、学校法人大阪女学院、株式会社藤木工務店、大阪中央法律事務所、株式会社野木、株式会社吾妻屋

発行月	特集内容		
	1面	2,3面	4面
6月号	新たな「戦前」を迎えないために 反戦の「狼煙」を上げよう (矢野宏/フリージャーナリスト、「新聞うずみ火」代表)	私たちには力がある 選挙 で力を行使しよう/講演会 「中村哲さんに学ぶ」報告	専門学校だより/日本語教 師汗まみれ
8月号	すべての国の安全保障が損なわれないという原則 (樋川和子/大阪女学院大学・大学院教授)	LA 第Ⅲ期企画沖縄と大阪の 『結』/2023年度加盟YWCA 中央委員会報告	大阪YWCA 専門学校奨学金授 与学生の紹介/日本語教師 汗まみれ
10月号	国際人権基準に立脚した入館行政を (ビスカルド篤子/シナピス副センター長、神戸 女学院大学非常勤講師)	ピースフェスティバル「私たちのカラ フルコミュニケーション」/ 沖縄と大阪を結ぶ連続講座	東日本大震災被災支援チャリテ ィコンサート stand by you vol.8/ 日本語教師汗まみれ
12月号	最近の被害者支援 (木村弘子/大阪被害者支援アドボカシーセンタ ー事務局長・副代表理事)	クリスマスメッセージ/若 い女性への自立支援	千里ガレージセール報告/ 日本語教師汗まみれ
2月号	日本語教師養成講座に思いを寄せて (荘司育子/大阪大学日本語日本文化教育センタ ー教授)	日本語教師養成講座 54年間 の歴史/千里子ども図書室 50年のあゆみ	世界YWCA 総会報告/日本語 学科卒業生 今こんなこと しています
4月号	国レベルの支援体制構築が必要 〜いつまでボランティアなのか〜 (金香百合/堺市立男女共同参画センター館長)	大阪YWCA文化祭/イースタ ーメッセージ	インターンシッププログラ ム最終回/日本語学科卒業生 今こんなことしています

## 1. 会員・会友

◇2024年3月末会員数 233名 ◇2024年3月末会友数 6名

## 2. 賛助員

◇法人 4社

大阪商工会議所、株式会社サンカラー SHIPPING、積水化学工業株式会社、ワソコ株式会社

◇個人 83名

有田悦子、井口和子、池田洋子、石井由佳子、石神佐知子、伊藤景子、宇都宮ゆかり、江尻美穂子、大川哲次、大菅照代、大谷紀子、大野弘美、大平美保子、岡由紀子、梶原汎子、片山純子、神屋敷絹恵、川上光子、河原玲青、貴志慶子、國里順子、熊田多美子、黒田朋子、小池りつ子、河野栄子、河野陽子、小島志佐子、後藤ゆかり、小林直子、西条哲、笹部真樹、佐藤朋子、ジャクティアニー富士子、少徳充子、関根久子、芹野恵美、田中佐和子、田邊昌代、谷川毅、辻朋宏、寺中裕子、徳平真弓、豊島博子、中山ゆかり、波田則子、西由香利、西名貞子、端野昌彦、花岡千代美、原口早和子、平井代里子、藤井保男、藤田恭子、藤原裕美子、船越あゆみ、堀西敏子、松江訓子、松下起子、松下宜代、松田慶子、松田真理子、松永茅光、三澤文子、水尚子、南憲明、宮澤玲子、宗像千代子、望月文子、森垣友二郎、八木みゆき、安原みゆき、山崎久美子、山東史子、山本昌子、吉田佳代子  
匿名 8名

## 3. 寄付

◇個人寄付者一覧（大阪YWCA会員を含む）

相澤美子、秋山佳子、阿部晴水、有山正俊、栗野陽一、家本陽一、池田洋子、井上隆晶、上田由美子、上田賢博、上野康子、大岡眞知子、大久保絹、大杉美耶子、岡部順子、片山隼亮、川口敦子、川崎仁子、金香百合、清島千春、清塚典子、熊田多美子、栗本丹志貴、桑原静枝、坂本富子、佐久間早苗、笹部真樹、笹部昌子、鹿野幸枝、蔣建業、東海林恭子、白川啓子、末吉佳世子、鈴木豊子、首藤香、砂子礼、関根久子、瀬戸純代、芹野恵美、高野道夫、高橋和子、瀧本政子、田尻美知、辻加代、都木恵子、中山ゆかり、波田則子、久本浩美、日々野栄一、平野千代子、藤井保男、藤岡美智子、帆足文子、堀西敏子、前川契子、松下起子、松田慶子、南憲明・破魔子、宮澤玲子、村松通子、森垣房子、森垣友二郎、森下のり子、森山孝子、山東史子 匿名 16名

◇寄付団体一覧

アトリエ創、株式会社アドワン、生花を楽しむ会一同、出石いのちと平和、梅田会員部委員会、クリスマス会参加者一同、NCC—URM委員会、日本基督教団扇町教会、日本基督教団大阪教会、大阪教区心なごむ会、社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会、宗教法人大阪クリスチャンセンター、日本基督教団大阪城北教会、大阪YWCA千里クリスマスミニセール、大阪YWCA千里合唱団、大阪YWCA千里ガレッジセール参加者一同、大阪YWCA千里ミニバザー参加者一同、大阪YWCA千里合唱団ハンドベルクワイア、日本基督教団北千里教会、日本基督教団希望ヶ丘教会、グーテドママン、グループパレット一同、コスモ建物管理株式会社、子ども図書室、日本基督教団堺教会、サロン四季、シックスポイント、女性エンパワメント部委員有志一同、水彩画を楽しむ会一同、聖書を読む会、点字子ども図書室、日本基督教団豊中教会、豊中千里ロータリークラブ、一般財団法人中山文甫会館、配食グループ、文月会、Bridges、一般財団法人大阪ボーイスカウト振興協会、日本基督教団南住吉教会、日本基督教団都島教会

## 4. 募金

### ◇募金者一覧

相澤美子、朝岡千晶、朝川晃子、アトリエ創、上野康子、内坂建、梅田会員部委員会有志、遠藤恵美子、大杉美耶子、大畑知子、大原千恵子、片桐真佐子、川上悦子、川崎明恵、川崎仁子、木下蘭子、金香百合、口羽恵子、財務委員会委員一同、坂上信子、雀部真理、澤田祐子、宍戸百子、白川啓子、末吉佳世子、鈴鹿絹代、stand by you 参加者一同、千里委員会一同、高橋和子、瀧本政子、田尻美知、谷川いづみ、津戸眞弓、都木恵子、所佳子、仲上幸子、中島理依子、永嶋里香、中津陽子、中山光世、西村美恵子、二谷世津子、野上由紀子、俳句講座受講者一同、原紀子、東日本大震災被災者支援担当一同、平櫛紀子、深堀正博、藤岡美智子、古河順子、帆足文子、堀河昌子、本田芳子、村井毅、村松通子、森垣房子、森澤ゆかり、森本栄次、山高万寿子、山田真理、山本宣子、吉田くすほみ、吉田瀧子、ワイワイお食事会参加者一同

## 5. バザー協力企業・団体

株式会社アドワン、伊那食品工業株式会社、株式会社インターアークアソシエイツ、日本キリスト教団扇町教会、株式会社オフィスインテリア、株式会社神川工務店、コスモ建物管理株式会社、株式会社ジュノインターナショナル、大寅蒲鉾株式会社、大和ハウス工業株式会社、帝国ホテル大阪、日本生命保険相互会社、株式会社野木、伯方塩業株式会社、株式会社阪急阪神百貨店、株式会社藤木工務店、株式会社プランニングキュービック、株式会社ロイヤルホテル

## 6. 補助金・助成金(順不同)

助成団体	金額(円)	受入れ先
社会福祉法人吹田市社会福祉協議会	36,000	点字子ども図書室
公益財団法人日本YWCA	120,000	女性エンパワメント部
社会福祉法人大阪市社会福祉協議会	300,000	講座部
独立行政法人国立青少年教育振興機構	365,000	講座部

## 会議等

### 1. 評議員会

◇評議員 任期 2023年6月17日～2027年6月16日

朝川晃子、川崎知子、川江亜希子、関根聡、辻加代、平井佐津紀、広瀬圭子、深堀潤子、堀河昌子、松岡美智代、村松通子、森本昌江、横内いづみ、渡邊成子

#### ◇評議員会の開催

回	開催日	議案
1	2023年6月17日	第1号議案 2022年度事業報告
		第2号議案 2022年度決算報告及び監査報告
		第3号議案 理事、監事の選任について
		第4号議案 評議員の選任について
		第5号議案 2023年度4～6月事業報告
2	2024年3月23日	第1号議案 2024年度事業計画
		第2号議案 2024年度予算、2024年度資金計画及び設備投資の見込みについて
		第3号議案 諸報告

### 2. 理事会

◇理事・監事 任期 2023年6月17日～2025年6月16日

代表理事：谷川いづみ 理事：小澤裕子、雀部真理、鹿野幸枝、辻川さとみ、津戸眞弓

常務理事：中山羊奈 業務執行理事：中村友美、坂東暁子

監事：坂上信子、藤井恭子

### ◇理事会の開催

回	開催日	議案	
1	2023年5月25日	第1号議案	2022年度事業報告
		第2号議案	2022年度決算報告及び監査報告
		第3号議案	2023年度第1回評議員会の開催について
		第4号議案	理事、監事の選任について
		第5号議案	評議員の選任について
		第6号議案	2023年度4～5月事業報告
		第7号議案	諸報告
2	2023年6月17日	第1号議案	第7期代表理事、常務理事及び業務執行理事の選任
3	2023年7月20日	第1号議案	2023年度6～7月事業報告
		第2号議案	2023年度4～6月収支明細報告
		第3号議案	理事、運営委員、職員の合同会議実施について
4	2023年11月2日	第1号議案	2023年度下期見通しによる決算見直し
		第2号議案	2023年度8～10月事業報告
		第3号議案	理事、運営委員、職員の合同会議実施について
			諸報告
5	2024年2月8日	第1号議案	2024年度事業計画(案)について
		第2号議案	2024年度予算(案)、資金計画及び設備投資の見込みについて
		第3号議案	評議員会の日程について
		第4号議案	事業報告
		第5号議案	学則変更について
		その他	(1) 理事、運営委員、職員合同会議ふりかえり

### 3. 設置委員会等

委員会名	回数	延出席数	委員会名	回数	延出席数
評議員会	2	35	大阪版編集委員会	6	30
理事会	5	49	梅田会員部委員会	11	74
財務委員会	5	46	千里委員会	11	190
人事委員会	2	15	千里ボランティア委員会	6	46
運営委員会	11	130	千里子育て支援委員会	5	31
運営委員会役員会	9	47	東日本大震災被災支援担当	4	23
女性エンパワメント部	11	106	指名委員会	2	13
グループパレット委員会	4	38			

### 4. 職員・専任講師

#### ◇職員

総幹事 中山羊奈

幹事 川崎(三國谷)仁子、中村友美、坂東暁子、吉本沙矢香

幹事補 奥美和子、桑原静枝、永嶋里香

非常勤 五十嵐裕、岩井一枝、小野美也子、加藤真弓、金子蘭、岸田尚美、小村龍男、田中直美、常田京子、坂東摩波、藤原裕美子、堀奈央美、松下宜代、山本いち子

◇職員会 全体職員会 20回 主任会議 2回 広報ミーティング 5回

◇専任講師 井関幸、氏原庸子、影島充紀、清島千春、田村亜津子

◇会議 専任会議 4回 専任講師会 9回

## 世界YWCA、日本YWCA、他市YWCA関係

内 容	日 程	参加者数	内、大阪YWCA
加盟YWCA会長会	5/17	40	1
加盟YWCA中央委員会	5/27	57	5
日本YWCA評議員会	6/16	19	1
日本YWCA理事会、役員会、総幹事会合同会議	10/1、2/18	58	4
中国YWCA創立100周年記念ツアー(中国・上海)	11/12～15	日本か ら7名	2
中国YWCA創立100周年記念式典	11/13	約100	2
日韓カンファレンス	7/7～10	25	2
日本YWCA 日韓カンファレンス打合せ	5/19、6/29	21	4
日本YWCA 日韓カンファレンスふりかえり	7/21	11	2
日韓ユースカンファレンス	2/13～15	11	1
日本YWCA 日韓ユースカンファレンスミーティング	1/19、21、28、2/4	43	4
日本YWCA 処理水プロジェクトチーム 日韓処理水に関する協働会議	1/19	約30	1
日本YWCA YWCAのアイデンティティ研修ーキリスト教基盤ー	5/10、10/12	約50	2
日本YWCA ガバナンス研修	7/17、9/30、2/12	112	7
日本YWCA 韓国フェミニズムとの出会い	9/30	23	2
日本YWCA YWCAの広報のためのスマホカメラ研修	10/28	14	1
日本YWCA Rise Up! ファシリテーターになろう!	12/10、1/14	28	2
日本YWCA 新会員(登録)制度の提案にむけての意見交換会	1/28	不明	9
日本YWCA Web de ワールドカフェ ～追加会員制度について話そう～	3/6	約40	1
2023年度 関西中高YWCAカンファレンス	7/28	約100	1
京都YWCA 100周年記念ホームカミング よこそ会館へ	5/14	約30	1
京都YWCA 100周年記念式典	9/23	115	3
名古屋YWCA 90周年記念式典	10/9	約60	1
日本YWCA 心地よく自分を表現するー私の伝えたいを伝える、 言わない自分も否定しないー	1/29	約20	1
神戸YWCA 第103回定期会員集会	3/9	約20	1
日本YWCA職員研修会(1～3年目)	6/10、、24、7/15、 8/5	82	4
日本YWCA職員研修会(1～3年目)フォローアップ	8/22、8/25	16	2
日本YWCA幹事研修会(4年目以降)	10/27	42	2
日本YWCA職員研修打合せ	6/6、14、29、7/21、 1/25	16	5
全国幹事会 会館のメリットを活かした若年女性支援のモデル事業 構築のための勉強会 担当者会	1/23、3/19	9	3
全国幹事会 会館のメリットを活かした若年女性支援のモデル事業 構築のための勉強会	3/26	16	2
総幹事会	4/19、5/28、6/28、 7/26、9/4、5、10/2、 11/22、12/27、1/10、 2/19、3/21	77	12
総幹事研修	3/21	8	1

\*日本YWCA理事、財政・会館事業部会、建物管理部会、人事部会、候補者選考委員会：谷川いづみ

\*日本YWCA監事、財政・会館事業部会、建物管理部会：鹿野幸枝

\*日本YWCA運営委員、人権・ジェンダー委員会：小郷あかり

\*日本YWCA人権・ジェンダー委員会：雀部真理

\*日本YWCA人材養成部会：辻川さとみ

\*日本YWCAユースジェンダー小委員会、処理水プロジェクト：飯綱萌

## 外部関係団体

一般財団法人大阪市青少年活動協会、一般財団法人大阪府青少年活動財団、青少年育成大阪府民会議、大阪府キャンプ協会、公益財団法人大阪ユースホステル協会、公益財団法人大阪ボーイスカウト振興協会、社会を明るくする運動実行委員会、特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会、公益財団法人大阪府国際交流財団、大阪地域留学生等交流推進協議会、大阪府男女共同参画推進連絡会議、大阪市企業人権推進協議会、社会福祉法人関西いのちの電話、大阪商工会議所、特定非営利活動法人いくの学園、大阪市DV施策ネットワーク会議、NPO法人全国女性シェルターネット、国際女性年大阪連絡会、特定非営利活動法人関西NGO協議会、日本基督教団大阪教区核問題特別委員会、大阪キリスト教連合会、大阪キリスト教婦人連合会、NCC都市農村宣教委員会、全国専門学校各種学校日語教育協会、全国専門学校各種学校連合会、大阪府専修学校各種学校連合会、一般財団法人中山文甫会館、国連ウィメン日本協会大阪、憲法9条の会・関西、九条の会・おおさか、学校法人大阪女学院、認定NPO法人大阪被害者支援アドボカシーセンター、社会福祉法人大阪キリスト教女子青年福祉会

## 施設維持・不動産管理

### ◇会館整備

\*1階 事務所キッチン混合水栓更新工事、会員ルームレンジフード取替工事

\*2階 教室学習椅子新規購入入替